

令和 6 年度

北 は り ま 消 防 組 合

一 般 会 計 決 算 審 査 意 見 書

北 は り ま 消 防 組 合 監 査 委 員

北消監報第5号
令和7年9月2日

北はりま消防組合
管理者 西脇市長 片山 象三 様

北はりま消防組合
監査委員 棚倉 和久
同 足立 吉雄



令和6年度北はりま消防組合一般会計決算審査意見書の
提出について

地方自治法第233条第2項の規定により、令和6年度一般会計の決算及びその附属書類について審査した結果、別紙のとおりその意見書を提出します。

令和 6 年 度

一般会計決算審査意見書

第 1 審査の対象

令和 6 年度北はりま消防組合一般会計歳入歳出決算

第 2 審査の期間

令和 7 年 8 月 1 日から令和 7 年 8 月 21 日まで

第 3 審査の方法

審査に付された決算書及び決算附属書類の計数等の正否の確認並びに必要なに応じて求めた決算に関する資料に基づいて、予算執行の適否及び決算経理について、関係職員から事情を聴取する等の方法により審査した。

第 4 審査の結果

本審査の対象となった一般会計の決算及びその附属書類は、いずれも関係法令に基づいて調製されており、その計数には誤りがなく適正であると認められた。

審査の概要と意見は次のとおりである。

- (注) 1 文中及び各表中の金額は原則として千円単位としたため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 文中及び各表中の比率は原則として小数点以下第 1 位までとしたため、比率の計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の「 0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。

1 決算の概要

一般会計の決算状況は、

予 算 額	2, 8 8 9, 9 4 8 千円
歳 入 決 算 額	2, 4 3 6, 0 4 7 千円
歳 出 決 算 額	2, 4 0 8, 7 2 0 千円
歳入歳出差引額	2 7, 3 2 7 千円

となっている。

形式収支額は27,327千円で、実質収支額も同額となっている。このうち地方自治法第 233条の2の規定に基づき14,000千円を財政調整基金へ繰り入れ、差引き13,327千円が翌年度へ繰り越されている。

本年度の決算規模を前年度と比較してみると、歳入で66,837千円、歳出で77,661千円がそれぞれ増加している。

主な内容は、歳入においては前年度に比べ、繰入金が20,885千円減少したが、分担金及び負担金が74,781千円、繰越金が5,271千円、諸収入が4,749千円、組合債が5,400千円それぞれ増加している。

一方、歳出においては、前年度に比べて公債費が27,659千円減少しているが、消防費が99,512千円増加している。

(1) 歳入

(単位：千円)

区分 年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
5	2,366,709	2,369,210	2,369,210	0	0	2,501
6	2,889,948	2,436,047	2,436,047	0	0	-453,901
増減額	523,239	66,837	66,837	0	0	-456,402

本年度の歳入決算額は2,436,047千円で、予算現額を453,901千円下回っているが、繰越事業の財源である基金繰入金113,870千円及び事業債341,500千円の減収分を考慮すると、おおむね予定どおりの収入が確保されている。

款別の歳入決算額は、第1表のとおりである。

第 1 表 款別歳入決算額比較表

(単位：千円、%)

区分 款別	5 年 度		6 年 度		対前年度比較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	2,263,213	95.5	2,337,994	96.0	74,781	3.3
使用料及び手数料	4,392	0.2	3,788	0.1	-604	-13.8
県 支 出 金	1,922	0.1	0	0.0	-1,922	皆減
財 産 収 入	2,081	0.1	2,128	0.1	47	2.3
繰 入 金	22,485	0.9	1,600	0.1	-20,885	-92.9
繰 越 金	12,880	0.5	18,151	0.7	5,271	40.9
諸 収 入	4,137	0.2	8,886	0.4	4,749	114.8
組 合 債	58,100	2.5	63,500	2.6	5,400	9.3
計	2,369,210	100.0	2,436,047	100.0	66,837	2.8

第 1 表中、分担金及び負担金については、構成市町からの負担金であり、収入済額は 2,337,994 千円で、前年度と比べ 74,781 千円の増収となっている。

各市町負担金は、第 2 表のとおりである。

第 2 表 消防費市町負担金

(単位：千円)

市町 年度	西脇市	加西市	加東市	多可町	合 計
5	652,293	643,005	619,303	348,612	2,263,213
6	675,821	663,841	638,375	359,957	2,337,994
増 減 額	23,528	20,836	19,072	11,345	74,781

(2) 歳出

(単位：千円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5	2,366,709	2,331,059	0	35,650	98.5
6	2,889,948	2,408,720	455,370	25,858	83.3
増 減 額	523,239	77,661	455,370	-9,792	-15.2

本年度の歳出決算額は 2,408,720千円で、予算現額に対する執行率は前年度に比べ15.2ポイント減少し83.3%となっているが、翌年度繰越額を含めると、実質的な執行率は98.9%となり、おおむね予定どおり適正に執行されているものと認められた。

款別の歳出決算額は、第3表のとおりである。

第3表 款別歳出決算額比較表

(単位：千円、%)

区 分	5 年 度		6 年 度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
議 会 費	211	0.0	168	0.0	-43	-20.4
総 務 費	26,465	1.1	32,316	1.4	5,851	22.1
消 防 費	2,199,167	94.4	2,298,679	95.4	99,512	4.5
公 債 費	105,216	4.5	77,557	3.2	-27,659	-26.3
合 計	2,331,059	100.0	2,408,720	100.0	77,661	3.3

第3表中、前年度に比べ消防費が増加した主な理由は、給与改定による人件費の増、加東署事業のはしご車保守点検業務委託料の増などによるものである。

2 財産に関する調書

財産の状況は、次表のとおりである。

区 分	単位	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
土 地	m ²	0	0	0
建 物	m ²	177	0	177
物 品	台、式	76	-1	75
基 金	千円	260,604	40,118	300,722
財 政 調 整 基 金	千円	93,979	20,060	114,039
消 防 施 設 整 備 基 金	千円	166,625	20,058	186,683

3 結 び

本年度決算の概要は前述のとおりであり、審査した限りにおいて、

適正な決算状況であると認められた。なお、事務及び予算の執行に際しては、その重要性を認識され健全な組合運営の維持に努められたところである。

(1) 事業執行

消防施設整備事業として、高機能消防指令システム部分更新事業（翌年度繰越）に着手され、車両更新計画により加西消防署及び加東消防署の高規格救急自動車の車両更新、救助工作車及び小型動力ポンプ付水槽車は契約により令和7年度中に納入予定であるなど、消防・救急業務体制の充実を図られている。

また、職員研修では、消防大学校をはじめとする研修に職員を派遣するとともに、組合内でのフィードバック研修を行うなど、能力の向上に努められている。

(2) 最後に

全国各地では、激甚化する自然災害や、大規模な山林火災の発生に加え、令和6年8月の日向灘を震源とする地震では「南海トラフ地震臨時情報」が発表された。災害に関する報道が増え、災害への備えや防災意識が高まる中、指令業務の効率化による効果的な部隊運用と災害時における迅速かつ万全な活動体制を確保し、管内住民の生命と財産を守るとともに、安全で安心な暮らしを送れるまちづくりを目指されたい。